



～ 環境省の「名水百選」選抜総選挙で二冠を達成した、安曇野わさび田湧水群を訪ねよう～

「不動産の視点で安曇野の地理を読み解く」の大人気コース“わさび田湧水群”が二年ぶりに復活。環境省の「名水百選」選抜総選挙（2016）で二冠を達成し、安曇野ふるさと遺産（2020）にも認定されている安曇野わさび田湧水群の最上流部を訪ねます。

わさび栽培やニジマス養殖、そして市民の上水を潤す安曇野の地下水の湧水量は1日約70万トン。貯水量は諏訪湖の約300倍と言われ、北アルプスに降った雪が約10～20年かけて湧き出しています。年間を通して13～15℃で、夏は冷たく、冬は凍らない湧水は、北アルプスがもたらす安曇野の恵みです。

安曇野をこよなく愛する不動産の専門家が、扇状地の地形が生み出す湧水と暮らしの秘密に迫ります。

参加はココブラ信州のホームページからお申し込みください。 要会員登録

日時 4月25日 9:00～11:30

集合 安曇野の里安曇野の里駐車場（田淵行男記念館東側）

定員 10名

参加費 3,000円 保険料含む。

申込み 1月1日～1月1日

参加はココブラ信州のホームページから、お申し込みください。 要会員登録